

自由投稿「中小田井街歩きから庄内緑地公園を経て、枇杷島まつり」

7月17日のウォーキングクラブ定例会は雨天中止になり、8月は夏休みで2ヶ月のブランクです。それを踏まえて、6月1日（日曜日）は枇杷島まつりに合わせて中小田井町並みと庄内緑地公園の下見調査をしており、既に一月半程経過しているので記憶が多少あやふやですが。写真ファイルを観ての思い出編集記録です。



① 中小田井町並み保存地区と善光寺別院願王寺

9時00分、名鉄金山駅に男性5名・女性2名が集合、庄内緑地公園で女性1名合流。中小田井駅で下車し改札口を出て高架橋の階段を下れば、目の前に松林の小さな広場に隣接して南北方向に岩倉街道が伸びています。

岩倉街道のガイドマップ看板によれば、昔は岩倉から西枇杷島の青果市場に卸す為の流通地点であり大きな商家が立ち並び大変賑わったそうです。

重厚な商家の手入れの良い鉢植えの植物に見とれていたご婦人に、お内の年配のご婦人から声を掛けられ、ご婦人手作りのドライフラワーアレンジメントをはじめ、抹茶茶碗や古物の陶器等貴重なお宝を拝見させていただきました。昔は油屋として多くの職人さんを抱えご主人と江戸末期からの大店を維持された苦労話をお聞きしました。この様な偶然の機会もウォーキングクラブの一期一会の出会いです。格調のある格子連子の大店を左折して路地を進めば、伊勢ノ海部屋の朝稽古の土俵を右に見て東雲寺の本堂を經由して、古刹の善光寺別院の願王寺に参詣します。本堂が鉄骨切妻屋根で覆いされ現代建築としてリノベーションされており、内部は伝統木造建築と融合して、妻側入り口をはじめ全面硝子張りで明るい内陣では内部が光に溢れています。

また、入り口には昔の本堂の巨大な鬼瓦が飾られ堪能しました。



また、本堂の改築耐震補強工事により建築学会賞を受賞しています。

ところで13日から23日まで名古屋場所の宿舎として伊勢ノ海部屋が庫裏を使われる様です。ご本尊をお参りして戒壇巡りの入口階段を眺め、須弥壇を周回し納骨堂まで拝見しました。あまり時間に余裕がないので端折りながら急いで表に出て、五所神社に立ち寄り、土手の石段を駆け上り、庄内緑地公園のボート池を眺めながら、木陰のベンチで思い思いにランチタイムです。

②庄内緑地公園から枇杷島橋

庄内川右岸堤防に上がれば河川敷の広大な空間には滔々と流れる庄内川を隔てて、名古屋駅前の高層ビル群が目の前に眺める事ができました。

庄内緑地公園堤防の西側には小田井川水門が聳え立ち、鋼製ゲートが庄内緑地公園と庄内川との水位調整のための大きな構造物がありました。強い東風を背に受けて堤防遊歩道をだらだらゆっくと、たまには急いで、おしゃべりウォーキングするのも楽しいものです。

名古屋高速の赤いワイヤーの斜張橋を仰ぎ見て通りすぎ、暫くして名鉄犬山線の交差点を渡れば目に飛び込んできたのは王義之山車です。



③西枇杷島まつり

西枇杷島は水田地帯の濃尾平野を背にし、消費地の名古屋城下町の中間地点であり青果市場を中心に大いに賑わい発展しました。大店の豪商は文化発展にも貢献し、天王祭りを盛り上げて山車まつりに発展させました。まつりの人込みに押され名鉄本線のガードを潜れば美濃街道に入り、両側の様々な露天商の店と人込みに押されて人の流れに身を任せながら山車の絡繰りやら笛太鼓の祭囃子に浮かれて、ウォーキングクラブの団体行動もどことやら惰性で西枇杷島問屋記念館に辿り着き早速トイレに駆け込みセーフ、そんなこんなで記念館の土間の縁台で小休止です。

どうやら元気な方は新川橋駅まで行かれた様です。電話連絡で記念館に集合して、名鉄二ツ込駅で帰路にする事にしました。今回初めておまつりコースを取り入れた事はよかったが、統率が乱れ道迷いと、連絡の徹底がおろそかになり反省する事が多々ありました。でも、お祭りやら大きなイベントは心が浮き立ち、年を忘れ欣喜雀躍たまには良いネ♥ (写真提供：会員有志)

